

2026 年 6 月 2 日

各 位

会 社 名 株式会社坪田ラボ
代表者名 代表取締役社長 CEO 坪田 一男
(東証グロース：4890)
問合せ先 企画管理本部広報・IR 機能長 木下 淳
(TEL 03-6384-2866)

令和 5 年度女性活躍のためのフェムテック開発支援・普及促進事業における助成事業を完了

株式会社坪田ラボ（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：坪田一男、以下「当社」）は、公益財団法人東京都中小企業振興公社より 2024 年 3 月に採択されました令和 5 年度女性活躍のためのフェムテック開発支援・普及促進事業における助成金事業（以下「本事業」）として実施していた「月経不順の患者を対象としたバイオレットライト（VL）と月経周期の関連性を調査する探索的臨床研究（以下「本研究」）」を完了したことをお知らせいたします。本研究は、当社パイプライン TLG-021 に関するものであり、VL 照射による月経不順改善機器のヒトでの安全性と効果の傾向の確認を行いました。

本研究により、当社コア技術である VL の安全性について重篤な有害事象は認められず、VL 照射が月経周期に変化をもたらす可能性が示唆されました。現在論文の執筆および学術誌への投稿に向けた準備を進めております。なお、本研究は「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」に基づく薬事承認申請を目的とする治験ではございません。

また本事業では、将来的な社会実装を見据え、日常生活で女性が快適かつ日常的に使いやすいデザインや仕様も並行して検討しております。

研究名称：月経不順の患者を対象としたバイオレットライト（VL）と月経周期の関連性を調査する探索的臨床研究（臨床研究実施計画番号：[jRCTs032240394](#)）

統括管理者：鈴木 絢子（医療法人社団 ゆかり会 虎ノ門ウィメンズクリニック）

研究の目的：月経不順を有する 20～40 歳の女性を対象に、VL 照射が月経周期に及ぼす影響について調査する。

対象疾患名：月経不順

本研究の具体的な解析結果および詳細なデータにつきましては、学術的客観性と信頼性を担保するための論文発表を予定していることから、現時点での公表は差し控えさせていただきます。掲載時期等が決定いたしましたら、改めてお知らせいたします。

今回の成果は、当社が培ってきた VL 技術を、成長市場であるフェムテック領域へ横展開し、将来的な新規事業を拡大していくための重要な足がかりとなります。今後は速やかな論文掲載を目

指すとともに、本成果を基盤とした次世代の事業開発、およびパートナー企業への導出を推進してまいります。

以上

◇ **TLG-021** について

TLG-021 は、屋外光に含まれる VL を照射することで、サーカディアンリズムを整えることを通じ、月経不順に対する新たな選択肢の確立を目指しています。